

國學院大學学術情報リポジトリ「K-RAIN」

令和2年大学院短期招聘研究員の研究報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學大学院 公開日: 2023-02-07 キーワード: 作成者: 野中, 哲照, 程, 国興 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001521

令和2年 大学院短期招聘研究員の研究報告

令和元年度國學院大學大学院国際学术交流事業による短期招聘研究員の招聘に伴う研究活動について、下記のとおりご報告いたします。

招 聘 者：文学研究科 教授 野中 哲照

招聘研究員：河南科技大学外国語学院 講師 程 国興

招 聘 期 間：令和2年1月10日（金）～令和2年2月8日（土）

学术交流報告（講演会等）①：

実施日時：令和2年1月15日（水）18時～19時30分

実施場所：若木タワー5階 0509演習室

タイトル：研究紹介 日本における〈呉越説話〉の展開

参加対象：文学研究科構成員（教員）、文学研究科学生

概 要：程国興氏が2012年に日本の大学で博士号の学位を取得した際の博士論文のテーマ。その一部の紹介。日本における〈呉越説話〉は、『太平記』巻四所収話が最初で、それ以降、『三国伝記』『仮名本 曾我物語』、御伽草子『呉越』、浄瑠璃『呉越軍談』などへと展開していった。『史記』『呉越春秋』など中国的な〈呉越説話〉が原典離れを起こして日本化してゆくのは予想されたことだが、日明貿易の影響を受けたらしき室町後期から再び中国の原典に回帰していったことが報告されたことは、とても興味深かった。

学术交流報告（講演会等）②：

実施日時：令和2年1月21日（火）16時10分～17時40分

実施場所：若木タワー5階 0509演習室

タイトル：座談会 中国の大学で日本語・日本文化の教壇に立つということ

参加対象：文学研究科学生（中国人留学生、日本人学生）

概 要：中国人留学生で、母国に帰って大学の教員になりたいと思っている学生（8名参加）、あるいは日本人学生で外国の大学で日本語教師として教壇に立ちたいと思っている学生（4名参加）に向けた座談会。程国興氏は中国で2つの大学（大連海洋大学、河南科技大学）での勤務経験がある。程氏に、日本語・日本文化の教師として、就職、授業、研究、生活などについて話をしていただい

た。学生からの質疑に程氏が答える時間をたっぷり設け、活発な質疑応答が行われた。

学術交流報告（講演会等）③：

実施日時：令和2年2月7日（金）14時30時～16時

実施場所：若木タワー5階 0509演習室

タイトル：研究成果報告会

「北邙の煙」の由来について——中国的表現から日本的表現への変容——

参加対象：文学研究科構成員（教員）、文学研究科学生

概要：中国洛陽の北にある葬送地である「北邙」を含んだ表現は、古くから日本文学にみられる。それらは、「北邙の塵」「北邙の雨」「北邙の露」「北邙の煙」の成句として用いられている。これらのうち、「塵」「雨」については中国文学においてもみられるが、「露」はまれで、「煙」はまったくみられない。中国は土葬であるのに対して日本は火葬が一般的であるので、そのような習俗の相違が中国と日本の表現の位相差を生んだものと考えられる。